

市民部長目標

市民部長

市川 博章(いちかわ ひろあき)



当部の仕事を通して貢献しているSDGsの主なゴール



市民部の仕事

市民部は、地域づくり推進課、文化芸術振興課、市民相談課、市民課、防犯交通安全課の5課に加え、市内の11地区のまちづくりセンター、コミュニティセンター、市民活動支援センター、市民文化センター、所沢駅東口市民ギャラリー、斎場などの施設を所管しています。自治会・町内会の支援、文化・芸術の振興、市民活動への支援、市民からの相談受付、住所異動・戸籍の届出や各種証明の発行、個人番号カードの交付、地域安全活動の推進及び交通安全の啓発など市民生活に直結する仕事を担当しています。

市民部の令和3年度の目標

市民部の目標は、「絆」を大切にしたい、支え合い助け合う地域づくりや、市民の皆様が文化・芸術によりうるおいと安らぎを得ることの手助け、市民に向けた様々な事業などを通じて、安全で安心な市民生活を確保することとその利便性を向上させることです。コロナ禍にあっても、どうすればできるかという視点を常に持ち、「市民を笑顔にするために」市民部職員一丸となって臨みます。

目標達成に向けた重点事業

	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	地域ネットワークの支援	自治会・町内会の活動等について周知し、市民の関心を高めることで加入や参加につながるよう努めるとともに支援します。また、まちづくりセンターを拠点として、地域づくり協議会や自治連合会等を支援します。	人と人との絆を実感できる地域社会実現のため、「所沢市地域づくりガイドライン」を活用することなどにより、まちづくりセンターを拠点として、自治会・町内会や地域づくり協議会等のさらなる支援に努めます。	コロナ禍での自治会等の活動の支援を行うとともに、すべての地区の代表者に向けて地域づくりガイドラインの説明をするなど、地域課題に取り組むための環境の整備と仕組みづくりを一歩進めました。
2	個人番号カード(マイナンバーカード)交付事業	令和4年度末までに、国民のほとんどが個人番号カードを取得するよう進める国の方針を受け、個人番号カードを市民に交付することでデジタル化社会への基盤整備を後押しします。	個人番号カードの交付体制を大幅に拡充するとともに、市民に交付申請を促し、令和3年度末に市民の6割が個人番号カードを取得することを目標とします。	個人番号カードの交付体制は十分な余力を持って対応ができるよう拡充しました。一方で第1弾のマイナポイントのピークが終わり、第2弾との谷間で交付申請は伸び悩みました。交付率は、約4割に留まりました。
3	西所沢駅西口改札口開設事業	西所沢駅周辺の安全性・利便性向上のため、関係機関とともに西所沢駅西口改札口の早期開設を目指し、駅周辺の環境整備を駅施設の整備と一体的に進めます。	鉄道事業者との基本協定締結を最優先に進めるとともに、駅施設の基本設計、周辺の道路及び転回広場の整備に係る設計等を行います。	鉄道事業者と合意に至らず、基本協定の締結が出来なかったため、基本設計などが進みませんでした。